

2019 年度
部局 FD 活動報告

①人文社会学部／人文科学研究科

活動状況	学生による 授業アンケート等	人文社会学部／人文科学研究科では、各教室の学究内容の特殊性に鑑み、統一的な授業アンケートは実施していない。とはいえ、少人数の特性を活かし、各教室で学生の学問理解、学問環境についての意見・感想のフィードバックを受ける機会を複数設けている。演習、ゼミでの交流はもちろん、曜日指定しての個別指導等により学生の意見を吸い上げ、毎月各教室で実施される教室会議にて、教員間で学生のニーズを共有することに努めている。		
	研究会・講演会・ セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
				教室によってはFDに資するセミナー等の実施を行なったが、全体での取り組みはなかった。
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		5月9日（木）	16名	各教室は、どのようなアクティブラーニングの手法を取り入れているか。
12月4日（水）		16名	人文社会学部独自の卒業時の学修成果等アンケート項目をどのようにするべきか。	
その他	社会福祉学教室の阿部彩教授が主催する「Brown Bag Seminar」は、各教室の教員同士の研究・授業内容の共有・交流の機会となっている。毎月、各教室の教員が研究内容を発表し、和気あいあいと語り合うというものである。研究内容のみならず授業の工夫についての刺激にもなり、人文社会学部の草の根FD活動と位置付けたい。			
今後の予定・展望	今年度、ALに関するアンケートを各教室で実施したところ、各教室・教員がさまざまな工夫をなしていることが明らかになった。こうしたシェアすべき工夫を可視化するべく、2015年、2016年度に作成されたパンフレット「授業の工夫」の復活を成し遂げたい。また、ALセミナーへの積極的参加を呼びかけ授業の質の向上を図りたいが、いわば下から自発的に行われている教室間での取り組みとして、人文で既に活動している教室横断的な勉強会、発表会(上述の「Brown Bag Seminar」など)を起点としてFD活動にも発展させていきたい。			

②法学部／法学政治学研究科				
活動状況	学生による授業アンケート等	<p>【学部】 通年開講の専門教育科目（13科目）を対象として、学生による授業評価アンケートを実施した。集計結果をまとめ、各担当教員にフィードバックし、来年度以降の教育活動の改善に役立てている。（継続的に実施中）</p> <p>【研究科】 法学政治学専攻においては、少人数のため授業評価アンケートは馴染まず、実施していない。</p>		
	研究会・講演会・セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		12月18日（水） 14：40-16：40	学部生 250名 大学院生 1名 教員 2名	法学部政治学コースで、白糸裕輝ミシガン大学助教授を招いて、アクティブラーニングを目的とした最先端の政治学とその方法に関する講演会を開催することとした。政治学における方法論研究の第一線で活躍している若手研究者である白糸氏より「技術が変えた政治学」のテーマのもと、政治学の理論と方法について、ご自身の研究もふまえて学部生にもわかりやすく解説していただいた。
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		12月21日（土） 13：30-17：00	外部学生 4名、 OBOG等 18名、 教員 9名、 院生・研究生 8名	大学院政治学専攻の総合演習・ホームカミングデーの一環として、政治学大学院教育のあり方をテーマに、旧東京都立大学大学院社会科学部政治学ご出身の2名をお招きし、関口正司（九州大学名誉教授）「40年前の政治学総合演習——厳しくもあり楽しくもあった経験」、築島尚（岡山大学法学部教授）「日本官僚制におけるインフォーマルな人事集団の統制様式」を題材に、活発な討議を行った。
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		4月20日（土）	教員10名、 院生7名、 研究生2名	政治学専攻第1回FD会議：本年度前期授業の開始にあたって各授業の趣旨、使用教材、アプローチについて情報共有を図るとともに、参加する院生からも、どのような関心・姿勢で臨むかについて確認することを通じて、政治学専攻としての研究・教育水準の向上を図っている。
		9月5日（木）	教員10名、 院生7名、 研究生2名	政治学専攻第2回FD会議：本年度前期授業の終了にあたって各授業の実施状況（趣旨・目的に即していたか、使用教材を適正に使いこなせたか、アプローチは院生教育に効果的であったか、など）について情報共有を図るとともに、参加する院生からも、どのような関心・姿勢で臨み、どのような成果を得たかについて確認することを通じて、政治学専攻としての研究・教育水準の向上を図っている。
	その他	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		11月16日（土）	教員10名、 院生7名、 研究生1名	政治学専攻第3回FD会議：本年度後期授業の開始にあたって各授業の趣旨、使用教材、アプローチについて情報共有を図るとともに、参加する院生からも、どのような関心・姿勢で臨むかについて確認することを通じて、政治学専攻としての研究・教育水準の向上を図っている。
今後の予定・展望	<p>【学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施した授業評価アンケートの結果を、教員個々にフィードバックし、自らが担当する授業や教育環境の改善に反映することを再確認した。 ・法学部のFD活動をより活発化させるために、上記委員会・会議欄記載以外にも現に月1回以上開催している法律学・政治学各コースでのスタッフ・ミーティングをより充実させ、2020年4月から導入予定の法曹コース（法曹養成プログラム）の運用を含め、カリキュラムや講義のあり方について意見交換をし、法学部全体の教育効果の改善に繋げていく。 <p>【研究科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2007年度より大学院FDの実施が求められていることを踏まえて、法律学・政治学総合演習（全教員・全大学院生が参加する授業）等を中心とした自己点検・評価及びFD活動をさらに充実させていくとともに、定員充足率の向上や外国人留学生の受け入れを含めて、引き続き検討を行う。 			

③法学政治学研究科 法曹養成専攻

活動状況	学生による 授業アンケート等	<p>法科大学院の教育等の改善・充実のためのアンケート調査を、本法科大学院生を対象に実施している。2019年度前期に実施し、後期も実施予定である。このアンケートにおいて、すべての授業科目について法科大学院生による授業評価を行うとともに、あわせて授業内容や方法、オフィス・アワー等の学習支援体制、施設・設備等に対する要望等を尋ねている。このアンケートの回答は、当該科目の担当教員にフィードバックするほか、毎月1回第1木曜日に開催されるFD会議及び専攻会議においても開示し、教員間の共通認識とし、授業方法・授業内容だけでなく、学習環境の改善にも役立てた。本年度は、冷房設備の故障や臨機応変な空調稼働がなされないことに対する法科大学院生からの不満が多数寄せられたことから、冷房設備の修繕や空調機器のレンタル、熱中症予防のための飲料配布等の対応をした。また、法科大学院の同窓会組織である「晴海会」が、本学出身の司法修習生による学習相談会を、2、3回程度開催し、その参加者数や相談内容等をFD会議で報告してもらった。</p>		
	研究会・講演会・ セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		FD会議 8月を除く、 毎月第1木曜日 午後1時30分よ り開催した。 (1月は第2木曜 日)	9名～14名、 1回平均12 名が参加 した。	毎回異なるテーマを取り上げたが、2019年度に扱ったテーマとしては、カリキュラム内容の改善、適正な成績評価を実施するための注意喚起、成績不振な法科大学院生に対する対応策の検討などがある。
その他	<p>法曹養成専攻では、専任教員は他の教員の授業を見学する義務を負っており、その見学結果を報告書にまとめてFD会議に提出・報告し、当該授業に関する見学者教員の評価や問題意識をFD会議構成員間で共有している(授業相互見学制度)。2018年度は、2名ほどの専任教員がこの義務を果たしていなかったが、2019年度は、専任教員全員の授業相互見学実施を目標に、FD会議の場で実施を促す働きかけがなされた。また、法科大学院では、毎年、大学改革支援・学位授与機構に対し、「年次報告書」を提出し、審査・評価を受けている。2019年度も、年次報告書を提出する予定であり、現在取りまとめ作業が進められている。さらに、2007年度以降、法科大学院の各年度における自己点検・評価結果については、外部委員による評価を行い、年度ごとの自己評価書を公表しているが、2019年度も2月に、外部委員の審査を受ける予定である。</p>			
今後の予定・展望	<p>2018年度に受けた法科大学院認証評価の結果を踏まえ、法科大学院における教育・研究の質の向上を実現すべく、前記取組みを継続し、更なる向上策を検討・実践する予定である。特に、今後、いわゆる法曹コースからの進学者を受け入れ、早期の司法試験合格者を多数輩出するため、効果的な教育内容の改善・向上を図る必要があると考えている。そして、このような教育内容の改善・向上を推進していくためには、優秀な教員を多数確保する必要がある。しかしながら、本法曹養成専攻では、2019年度も職員の定年退職が予定されており、同様の事態は今後数年にわたって生ずる見込みが高い。したがって、今後も、優秀な教員を採用するための人事枠・制度の拡充、正規雇用職員の増員を中心とする事務体制の整備、これらを可能にする予算措置を講ずる必要がある。</p>			

④経済経営学部／経営学研究科

活動状況	学生による 授業アンケート等	<p>下記の期間に、学部・専門教育科目および大学院・博士前期課程授業科目について実施した。</p> <p>1. 前期・前期II開講科目：2019年6月24日（月）～7月6日（土） 【学部】実施授業数 34 履修登録者総数 4409人 回収率 33.55% 【大学院】実施授業数 23 履修登録者総数 333人 回収率 65.17%</p> <p>2. 後期I開講科目：2019年11月16日（土）～12月1日（日） 【大学院】実施授業数 1 履修登録者総数 5人 回収率 100.00%</p> <p>3. 後期・後期II開講科目：2019年12月9日（月）～12月21日（土） 【学部】実施授業数 40 履修登録者総数 5314人 回収率 16.71% 【大学院】実施授業数 16 履修登録者総数 214人 回収率 55.14%</p> <p>教員はリアルタイムで回答状況を閲覧できる他、終了後に個別授業の集計結果を教員毎に送付し、教授会でも全体の集計結果や主なコメントを共有した。</p>		
	研究会・講演会・ セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		7月18日（木）	19名	今年から「ゲーム理論1」において開始した、kibaco上の宿題・演習の取組や設定方法、学生の反応が紹介された。
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		6月13日（木）	15名	授業改善アンケートの実施方法および質問項目の変更 授業毎に2年に1回実施→毎年実施に変更。
その他	学修達成度情報フィードバックシステムの改修と、ジェネリックスキル修得度の判定方法に関する議論を継続して行った。			
今後の予定・展望	ジェネリックスキル到達度の測定方法に関する議論をまとめ、学修達成度情報フィードバックシステムへの実装を目指す。 授業改善アンケートにおける学生コメントの共有およびカリキュラム改善等への反映に関して、学部・研究科レベルで丁寧に精査できるよう体制を整えたい。			

⑤理学部／理学研究科

活動状況	学生による 授業アンケート等	<p>1. 理工学系6コースおよび理学部4学科のすべての専門教育科目に対して、前期（7月）と後期（1月予定）に、「授業改善のためのアンケート（学生用）」調査を実施した。質問項目については、経年変化の追跡のために例年通りとした。また、授業担当者が設定できる問いを積極的に利用してもらうよう、前期・後期とも「質問例集」を作成し、授業担当者に配布した。</p> <p>2. 昨年度後期分の学生アンケートの集計結果を6月に、今年度前期分の学生アンケートの集計結果を10月に、それぞれ各教員へ返却した。自由記述欄については、原文のまま各授業担当者に返却した。その際、差別用語を含むなど不適切な回答内容については委員会でフィルタリングを行い、回答の意図を損なわない程度に不適切箇所を削除して授業担当者に開示することとした。</p> <p>3. 授業担当者に対しては、「理学部専門教育科目に関する授業改善アンケート」を秋に実施し、それらの回答を集計して理学部FD委員会にて共有した。例年通り、次年度のアンケート依頼時に授業担当者に配布を予定している。</p>		
	研究会・講演会・ セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
全9回（予定）		4～6名	議題のない場合を除き毎月、理学部4学科、および理工学系の機械、電気電子コースの計6名の委員にて、各学科・専攻におけるFD活動の報告と意見交換を行うとともに、授業アンケートの方法、成績評価基準、授業改善に関する施策など、理学部FD委員会として検討すべき事項について議論を行った。	
その他	<p>1. 基礎教育部会および教務委員会からの依頼にしたがって、教学IR推進室で集計された昨年度後期分および本年度前期分の成績分布について、各学科で成績分布データの共有を行い、成績評価基準に照らして逸脱した科目がないかなど、単位の質保証の観点から理学部FD委員会で検討を行った。また、その結果について基礎教育部会および教務委員会へ報告を行った。</p> <p>2. 部局FD活動のヒアリングの際に話があがった教学IR推進室を活用したデータ分析について、モデル時間割の作成、科目間連携の強化などを目的として、理学部FD委員会として教学IR推進室へ依頼を行った。</p>			
今後の予定・展望	<p>全学FDセミナー（特にALセミナーやルーブリック評価に関するもの）の理系エリアでの開催などを含め、部局FDセミナーの開催が今後の課題であり、本年度2月に開催予定の化学科のセミナーをモデルケースとして、部局FD活動の活性化を図りたいと考えている。</p> <p>また、モデル時間割や科目間連携を目的とした教学IRデータの分析結果について理学部FD委員会で検討を行い、時間割の検証や見直し、授業担当者間での情報共有と連携強化に取り組む予定である。</p>			

⑥都市環境学部／都市環境科学研究科

活動状況	<p>学生による 授業アンケート等</p>	<p>非常勤講師担当科目や、受講者数が10名程度以下の科目を除く今年度開講科目について、前期は2019年7月8日(月)～7月26日(金)の期間にアンケートを行った。アンケートの実施・回収状況は、以下のとおりである。 学部授業に関して、対象科目数 71、返却科目数 69(回収率97.2%)、履修登録者 3091、回答者数 2595(回答率84.0%)だった。教員アンケートは、対象教員数(延べ人数) 133、返却教員数 111(回収率83.5%)だった。大学院授業に関して、対象科目数 23、返却科目数 20(回収率87.0%)、履修登録者 133、回答者数 111(回答率83.5%)だった。教員アンケートは、対象教員数(延べ人数) 34、返却教員数 28(回収率82.4%)だった。 後期については、2020年1月6日(月)～1月27日(月)の期間にアンケートを行った。結果の集計は、この報告書の提出時は出ていない。</p>		
	<p>研究会・講演会・ セミナー等</p>	<p>開催日時</p>	<p>参加者数</p>	<p>テーマ・実施内容等</p>
	<p>委員会・会議等</p>	<p>開催日時</p>	<p>参加者数</p>	<p>テーマ・実施内容等</p>
		<p>10月17日(木)</p>	<p>43名</p>	<p>GIS教育のご紹介(都市政策科学科 伊藤史子教授) 対象者：教授・准教授・助教</p>
	<p>5月30日(木)</p>	<p>教員：6名 職員：2名</p>	<p>2018年度後期におけるFDアンケート集計結果報告について クォーター科目FDアンケート実施についての検討 2019年度都市環境学部FDセミナー開催案について</p>	
<p>12月2日(月)</p>	<p>教員：5名 職員：2名</p>	<p>2019年度前期におけるFDアンケート集計結果報告について 2019年度FDアンケート実施報告 卒業時の学修成果アンケート調査の実施について 2019年度後期におけるFDアンケートの実施について</p>		
<p>その他</p>	<p>アンケートの教員へのフィードバックに関しては以下のとおりである。 1 個々の科目データについては、自由記述のフィルタリング後、主担当教員へ配信。 2 回答データ並びに自由記述については、都市環境FD委員会にて共有。</p>			
<p>今後の予定・展望</p>	<p>学生による授業評価・教員による授業評価結果を次年度の授業に活用することによって、改善に取り組んでいく。アクティブラーニングについても積極的に取り組む。 学部・研究科主催のFDセミナー開催について、今後も継続できるよう取り組むと共に、テーマ、開催形態、開催日時など、教員がより参加し易くなる方法を検討する。</p>			

⑦システムデザイン学部／システムデザイン研究科

活動状況	学生による授業アンケート等	システムデザイン学部では、前期開講科目について、学生による授業改善アンケートを2019年7月1日（月）～2019年8月9日（金）に実施した。学部では、対象授業科目数87のうち68科目からの回答があり、大学院では、対象授業科目数44のうち33科目からの回答があった。集計結果の概要は2019年9月に全授業担当教員へ周知した。また、後期開講科目については2020年1月6日（月）～2020年2月3日（月）に実施した。演習、実験科目、集中講義科目に対するアンケートも、授業担当教員の希望を募って実施している。		
	研究会・講演会・セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		9月19日（木） 13:00	日野キャンパス11名、南大沢キャンパス3名	「システムデザイン学部・研究科でよく見られる事例と対応」SD学生相談室メンタルサポート講演会との共催。日野開催・南大沢キャンパスTV開催
		1月8日（水） 13:00	9名	英語プレゼンテーション研修 「Presentation Graphics that Work」教育改革推進事業との共催
		1月10日（金） 13:00	14名	英語プレゼンテーション研修 「Presentation Graphics that Work」教育改革推進事業との共催
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		5月14日（火） 14:40	9名	2018年度申し送り事項について 2019年度活動方針について FDニュースの発行について 前期授業改善アンケートの実施について FD委員会報告
		7月16日（火） 14:40	10名	システムデザイン学部・研究科部局セミナーの開催について FD委員会報告
		12月6日（金） 14:40	8名	システムデザイン学部・研究科部局セミナーの開催について 後期授業改善アンケートの実施について FD委員会報告
	その他	学生による授業改善アンケートの結果を科目ごとにまとめ、各授業担当教員にフィードバックを行うとともに、システムデザイン学部・研究科FDニュースとしての発行とホームページ上に公開を行うことで、学生と教員がともにFD活動について知り、理解を深める中で恒常的に授業改善が行われるような周知に努めた。		
今後の予定・展望	今後も引き続き、学部・研究科合同のFD部会を定期的開催し、全学FD委員会との連携、FDの共通認識の形成、具体的取組の実施検討を行う。システムデザイン学部実施の授業評価アンケートについて、アンケートの質問項目の削減を含めた再検討や個々の教員の授業改善へ繋げていくための方策などを検討したい。			

⑧健康福祉学部／人間健康科学研究科

活動状況	学生による授業アンケート等	<p>開講されている全ての専門教育科目を対象に、学生による授業改善アンケートを実施している。前期末と学年末に集計結果をまとめ、各授業担当教員にフィードバックし、次年度の講義内容の改善に役立てている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施対象科目：前期140科目、後期140科目、通年7科目 ・回答科目数（実施率）：前期114科目（81.4%）、後期・通年科目は集計中 		
	研究会・講演会・セミナー等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		3月5日（木） 16時-18時	18名	「実技評価の可視化に向けて」のテーマで、各学科から取り組み内容を報告していただいた。
	委員会・会議等	開催日時	参加者数	テーマ・実施内容等
		7月17日（水）	5名	部会長選出・全学FD委員会報告
		10月24日（木）	3名	全学FD委員会報告・前期授業改善アンケート集計結果、自由記述フィルタリングについて
3月16日（月）			卒業時の学修成果アンケート調査の実施について・後期授業改善アンケートの集計結果、自由記述フィルタリングについて	
その他				
今後の予定・展望	<p>全教員にFD関連の知識を深めていただき、全体の教育力の底上げを図りたい。そのために、例えば、FDセミナーに参加できない教員に対して、積極的に委員会のホームページで学内公開されている動画の視聴を促進する等、FDについて学べる機会を提供していきたい。</p>			